



ALLIANCEBERNSTEIN®

交付運用報告書

アライアンス・バーンスタインー

エマージング・マーケット・グロース・ポートフォリオ クラスA証券

ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(米ドル建)

作成対象期間 第30期(2021年9月1日～2022年8月31日)

第30期末	
1口当たり純資産価格 (クラスA証券)	42.46米ドル
純資産総額 (全クラス合計) (クラスA証券)	546,098,583米ドル 425,463,685米ドル
第30期	
騰落率	-23.98%
1口当たり分配金額	該当事項なし

(注)端数調整方法の違いにより、月次報告書に記載の騰落率とは異なる場合があります。以下同じです。

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、アライアンス・バーンスタイン(以下「トラスト」といいます。)のポートフォリオの一つであるエマージング・マーケット・グロース・ポートフォリオ(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第30期の決算を行いました。

ファンドの投資目的および投資方針は、新興成長国市場の企業の株式に投資することにより元本の長期的な成長を達成することです。ファンドは、当期につきましても、上記に沿った運用を行いました。ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

書面での運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.alliancebernstein.co.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

代行協会員

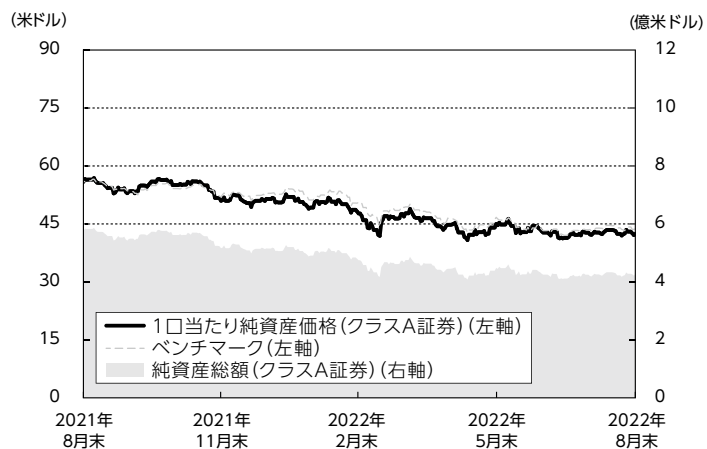
アライアンス・バーンスタイン株式会社

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・ルクセンブルグ・エス・エイ・アール・エル

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



(注1)クラスA証券については、分配方針に従い、分配金は支払われておりません。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドのベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックスです。ベンチマークの詳細は、後記「ベンチマークについて」をご参照ください。以下同じです。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

○上昇要因

素材関連の保有銘柄の価格上昇

○下落要因

情報技術関連やコミュニケーション・サービス関連の保有銘柄の価格下落

■ベンチマークについて

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、世界のエマージング諸国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

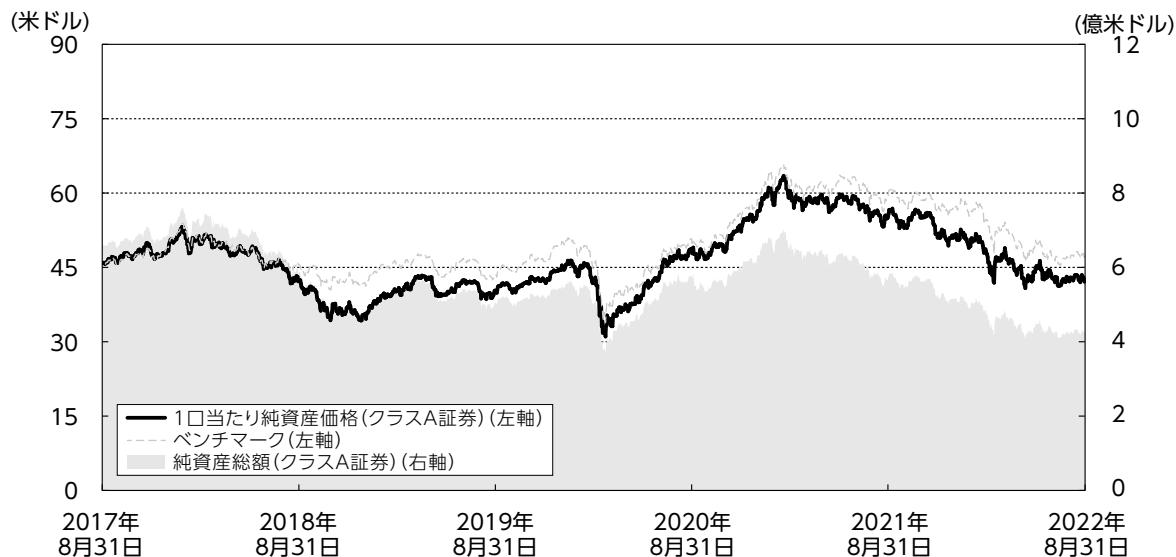
費用の明細

項目	料率／金額 ^(注1)	役務の概要	
(a) 管理報酬	クラスA証券の日々の純資産総額の平均額年率1.70%	管理会社が一括受領し、その中から主に以下の関係法人に対し報酬が支払われます。	
		支払先	役務の内容
		投資顧問会社	ファンド資産の日々の投資運用業務
		販売会社	ファンドの受益証券の販売取扱業務
(b) 管理会社報酬	クラスA証券の日々の純資産総額の平均額年率0.10%	代行協会員	クラスA証券に関する代行協会員業務
		ファンドの運営および中央管理業務の対価として、管理会社に支払われます。	
(c) 保管報酬、管理事務代行報酬および名義書換代行報酬	ルクセンブルグの通常の実務慣行に従い、資産を基準とする報酬と取引手数料の組合せとなっています。 管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬の年間の合計額は、通常、ファンドの純資産総額の最大1%です。保管報酬には、別途課されるコルレス銀行の費用、その他一定の税金、仲介手数料(適用ある場合)、借入利息は含まれていません。	ファンドの資産の保管業務、純資産価格の計算等の管理事務代行業務、ファンドの受益証券の登録・名義書換代行業務の対価として、保管受託銀行、管理事務代行会社および名義書換代理人にそれぞれ支払われます。	
(d) その他の費用(当期)	0.14% ^(注2)	税金、専門家報酬、印刷費、その他	

(注1) 各報酬については、英文目論見書に定められている料率または金額を記しています。

(注2) 「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



	第25期末 2017年 8月31日	第26期末 2018年 8月31日	第27期末 2019年 8月31日	第28期末 2020年 8月31日	第29期末 2021年 8月31日	第30期末 2022年 8月31日
1口当たり純資産価格 (クラスA証券)(米ドル)	45.84	42.42	40.31	47.83	55.85	42.46
1口当たり純資産価格の騰落率 (クラスA証券)(%)	—	-7.46	-4.97	+18.66	+16.77	-23.98
ベンチマーク騰落率	—	-0.68	-4.36	+14.49	+21.12	-21.80
純資産総額(千米ドル) (全クラス合計) (クラスA証券)	887,775 658,973	1,079,353 587,104	822,876 504,822	783,098 567,008	741,958 575,831	546,099 425,464

(注1) クラスA証券については、分配方針に従い、設定来、分配金は支払われておりません。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

投資環境について

2022年8月31日までの12ヵ月間における新興国株式市場(米ドルベース)は下落しました。

期初から2021年12月中旬にかけては、複数の新興国中央銀行による利上げなどが好感されて反発する場面もあったものの、米国の金融引締め観測に加え、新型コロナウイルスによる世界経済回復の遅れやウクライナ情勢への懸念がマイナス材料となり、おおむね下落基調で推移しました。12月下旬以降は、中国政府による景気刺激策や資源価格の上昇が株価を下支えしました。しかし2022年1月後半から3月中旬にかけては、中国での新型コロナウイルスの感染再拡大やウクライナ情勢の緊迫化を受けて下落しました。米国と中国の関係悪化なども下落要因となりました。その後、米中対立の緩和期待などからやや反発する局面もありましたが、5月中旬にかけて、米国の金融引締め姿勢の強まりやウクライナ情勢の悪化、中国のゼロ・コロナ政策による経済成長への悪影響などから再び下落基調となりました。その後は、中国での規制緩和などへの期待から上昇に転じましたが、6月以降は、先進国での経済減速懸念の余波に加えて、中国経済をめぐる懸念やコモディティ価格の下落が株価の重しとなりました。8月は一部の新興国の経済回復を背景に小幅な上昇に転じました。

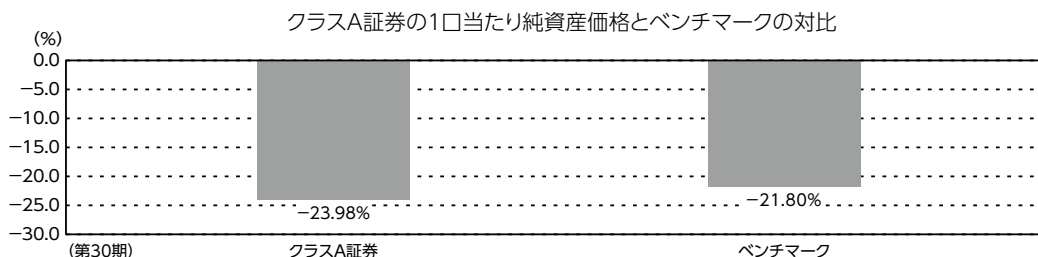
ポートフォリオについて

ファンドは主として新興国の株式および株式関連証券等から成るポートフォリオに投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。運用にあたっては、当期も引き続きアナリストの徹底した調査に基づき、潜在成長力、バリュエーションおよび経営能力がバランスよく優れていると判断される銘柄を厳選して投資しました。

その結果、セクター別配分においては、一般消費財・サービス・セクター、情報技術セクター、金融セクターなどが上位となりました。国別配分においては、中国、台湾、インドなどが上位となりました。

ベンチマークとの差異について

以下のグラフは、ファンドのクラスA証券の1口当たり純資産価格とベンチマークの騰落率の対比です。



クラスA証券とベンチマークの騰落率の差異の状況および要因について

ベンチマークとの比較では、当期はセクター配分、銘柄選択ともにマイナス要因となりました。セクター配分では、金融セクターのオーバーウェイトなどはプラス要因となったものの、エネルギー・セクターを保有していなかったことなどはマイナス要因となりました。銘柄選択では、一般消費財・サービス・セクターでの選択などはプラス要因となった一方、不動産セクターや資本財・サービス・セクターなどにおける選択などがマイナス要因となりました。

分配金について

ファンドは、分配方針に従い、クラスA証券については原則的に分配は行いません。従って、設定来、分配金は支払われておりません。

《今後の運用方針》

ファンドは、今後も投資方針に従って運用を行ってまいります。

ファンドでは、長期的な観点からファンダメンタルズが良好で確信度の高い銘柄への投資を行っており、運用チームが採用する地域横断的な独自の個別銘柄リサーチにより、利益率が高く長期に利益成長性が高い魅力的な企業を発掘することに努めます。

《お知らせ》

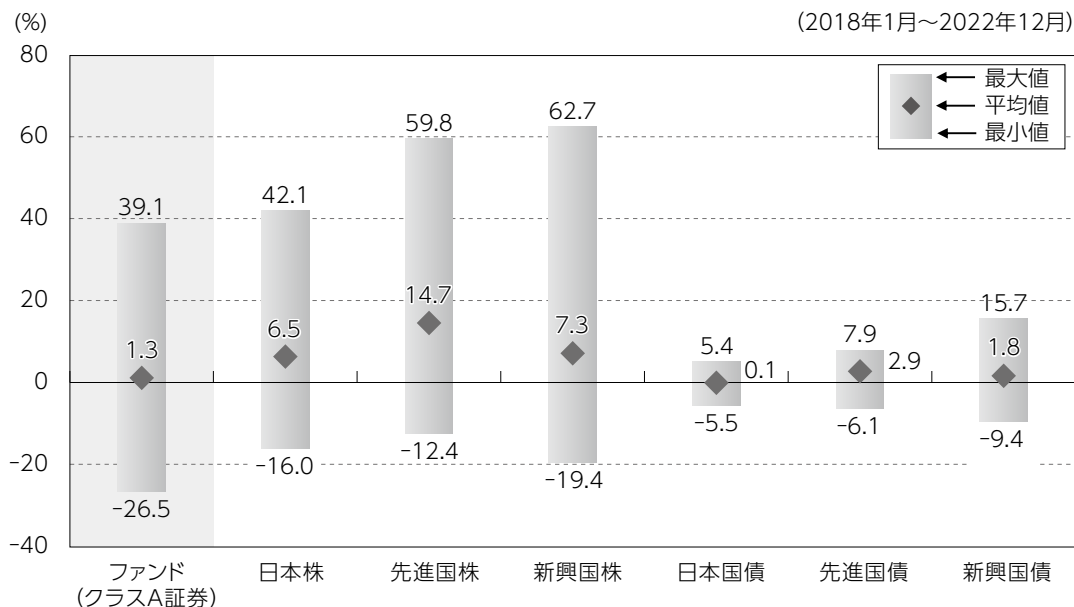
該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(米ドル建)
信託期間	ファンドの存続期間は無期限です。ただし、管理会社の決定により、ファンドを解散することができます。
運用方針	ファンドの投資目的および投資方針は、新興成長国市場の企業の株式に投資することにより元本の長期的な成長を達成することです。
主要投資対象	新興成長国市場にはMSCI Emerging Markets Indexに組入れられている国が含まれますが、それらに限定されません。ファンドは、随時、フロンティア市場にも投資することができます。フロンティア市場にはS&P Frontier Broad Market Indexに組入れられている国が含まれますが、それらに限定されません。
ファンドの運用方法	投資顧問会社は、通常の市況では、ファンドの総資産の大部分を新興成長国市場およびフロンティア市場の企業の株式に投資することにより運用します。ファンドは、その資産の3分の2以上を新興成長国市場の発行体に投資し、かつ純資産の50%以上を株式に投資します。投資銘柄の選定に当り、投資顧問会社は、長期的な成長が見込める好位置にあると判断する優良発行体に投資することを追求します。
分配方針	管理会社は、現在、クラスA証券に関して分配を行わない方針です。従って、クラスA証券に帰属する純収益および純実現利益は、受益証券の純資産価格に反映されます。

《参考情報》

■ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



● 上記グラフは、ファンド(クラスA証券)と代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2018年1月から2022年12月の5年間の各月末における直近1年間のファンドと代表的な資産クラスの年間騰落率*の平均・最大値・最小値を表示したものです。

*ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前におけるクラスA証券の1口当たり純資産価格を対比して算出しております。代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して算出しております。

● 全ての資産クラスがファンド(クラスA証券)の投資対象とは限りません。

● ファンド(クラスA証券)の年間騰落率は、その表示通貨である米ドル建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

上記の参考情報は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

***代表的な資産クラスの指数およびその著作権等について**

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、円貨に為替換算しております。

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出し公表する、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. MorganSecurities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容(第30期末)

●組入普通株式上位 10 銘柄

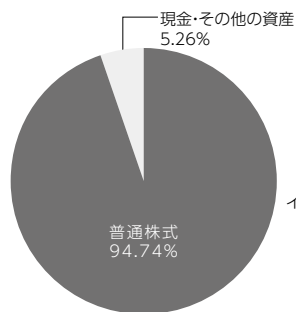
(組入銘柄数: 47 銘柄)

	銘柄名	組入比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	8.03
2	Tencent Holdings Ltd. - Class H	5.64
3	JD.com, Inc. - Class A	3.98
4	Bank Mandiri Persero Tbk PT	3.71
5	Housing Development Finance Corp., Ltd.	3.46
6	HDFC Bank Ltd.	3.42
7	Meituan - Class B	3.22
8	AIA Group Ltd. - Class H	2.99
9	Samsung Electronics Co., Ltd.	2.77
10	Samsung SDI Co., Ltd.	2.72

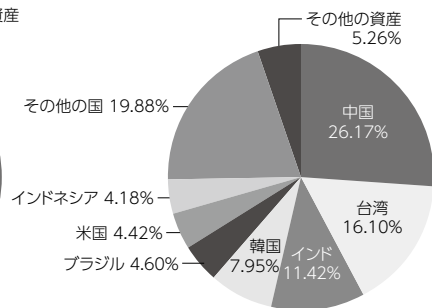
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

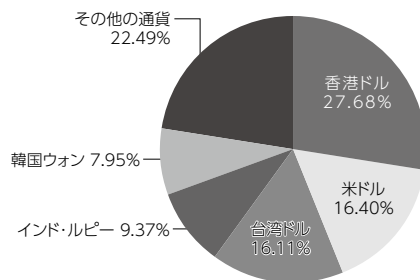
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 比率は四捨五入してあります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第30期末
純資産総額(全クラス合計)	546,098,583米ドル
純資産総額(クラスA証券)	425,463,685米ドル
受益証券発行済口数 (クラスA証券)	10,021,007口
1口当たり純資産価格 (クラスA証券)	42.46米ドル

第30期(クラスA証券)				
受 益 証 券 販 売 口 数	乗換口数 (+)	受 益 証 券 買 戻 口 数	乗換口数 (-)	受 益 証 券 発行済口数
1,082,894 (0)	13,200 (0)	1,329,219 (0)	56,117 (0)	10,021,007 (3,720)

(注) () の数は日本国内における販売・買戻しおよび発行済の受益証券口数です。

